

2007年8月9日

会 員 各 位

日本マイコトキシン学会
会 長 熊 谷 進

日本マイコトキシン学会第62回学術講演会プログラム

第62回学術講演会のプログラムをご案内申し上げます。

日 時：2007年9月6日（木）10時～17時30分

会 場：神戸市勤労会館 4階（405～409室）（神戸市中央区雲井通 5-1-2）

交 通：JR、阪急、阪神、市営地下鉄、ポートライナーの各三宮駅から東へ徒歩10分

プログラム

10:00－10:05 開会あいさつ

田中敏嗣（神戸市環境保健研究所 所長）

10:05－11:05 一般講演

座長：田端節子（東京都健康安全研究センター）

1) LC-MS/MSによる *Penicillium* 属産生かび毒の一斉分析

○中川博之、佐合由紀、久城真代、後藤哲久*、長嶋等（農研機構食品総合研究所、*信州大学農学部）

2) 種々の果汁中のパツリン分析法の妥当性確認

○川本幸恵、板東誠治、東原圭亮、宮川浩美、梅田未希、後藤哲久（信州大学農学部）

座長：陰地義樹（奈良県保健環境研究センター）

3) チョコレート中のアフラトキシン B1 分析法の検討

○伊藤綾子、渡辺康、中島正博*（㈱不二家 食品安全衛生管理本部 分析センター、*名古屋市衛生研究所）

4) 稲こうじ病初および飼料イネサイレージ中ウスチロキシニン A 分析法の検討

○宮崎 茂（動物衛生研究所）

11:05－11:15 休憩

11:15－11:45 一般講演

座長：杉山圭一（国立医薬品食品衛生研究所）

5) アフラトキシン生産阻害物質ジオクタチンAの作用機構解析

○吉成知也、村岡靖彦*、野々村禎昭*、野田陽一、依田幸司、長澤寛道、作田庄平
(東大院農、*微化研)

6) 植物精油成分に含まれるマイコトキシン生産阻害物質に関する研究

吉成知也、○矢口 篤、Mehdi Razzaghi-Abyaneh、中島 隆*、高橋治男**、長澤寛道、
作田庄平 (東大院農、*九州沖縄農研、**千葉衛研)

11:45-13:00 昼食 (ランチョンプレゼンテーション)

13:00-13:45 一般講演

座長：宮崎 茂 (動物衛生研究所)

7) Zearalenone のラットへの泌乳期暴露後の性的二型核における Estrogen Receptor α 陽性細胞数の経時的変動

○安藤 亮 (株ボゾリサーチセンター)

8) Effects of neonatal exposure to alpha-zearalenol, genistein and aflatoxin B1 on aflatoxin metabolism in the liver of adult rats.

○Saranya Poapolathep*、Amnart Poapolathep*、**、Susumu Kumagai* (*University of Tokyo、**Kasetsart University)

9) ヤギ臓器におけるゼアラレノン代謝活性に関する研究

○董梅、ピッサヌ・トラヤクル、李俊佑、董克蘇、真鍋昇、熊谷進 (東京大学)

13:45-14:00 休憩

14:00-14:30 会長講演

座長：田中敏嗣

「かび毒研究の展望」

東京大学大学院教授 熊谷 進

14:30-15:30 学会賞受賞講演

座長：高鳥浩介 (東京農業大学)

(1) 「カビ毒の毒性と制御に関する研究」

国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部 部長 小西良子

(2) 「分子生物学的手法を用いたカビの簡便な同定法 Heteroduplex analysis の確立とその応用」

15:30-16:00 コーヒーブレイク

16:00-17:30 シンポジウム

「住環境におけるカビの脅威ーみえないマイコトキシンと関連する疾患」

座長：高橋治男（千葉県衛生研究所）、小西良子（国立医薬品食品衛生研究所）

(1) 「オーバービュー」 芳澤宅實 先生（愛媛大学）

(2) 「住宅環境に生息する病原性カビ、特にマイコトキシン産生カビによる真菌症について」 亀井克彦、落合恵理 先生（千葉大学真菌医学研究センター）

(3) 「マクロサイクリックトリコテセンマイコトキシンによる新規毒性」
ザヒド イスラム博士（米国 ミシガン州立大学）

(4) 総合討論

18:00-20:00 懇親会

会場：神戸東急イン 3F 宴会場（神戸市中央区雲井通 6-1-5, tel 078-291-0109）



(神戸市勤労会館および神戸東急インの案内図)